



ラオスの伝統舞踊と音楽



<p>【伝統舞踊】 ドックチャンパー (チャンパーの花)</p> 	<p>ラオスの国花「チャンパー (champa)」は別名「プルメリア」と呼ばれ、白、ピンク、赤、黄色の可憐な花を咲かせます。香りも良く、アロマオイルの原料としても知られています。</p> <p>この花にちなんで「チャンパーの花」という歌がウッタマ・チュラマニ氏によって 1942 年に作詞・作曲され、現在でもラオスの準国歌としてラオスの人々に親しまれております。</p>
<p>【歌】 カプトゥン・ルアンパバーン</p>	<p>ラオスの新年を祝い、家族や友人などで集まったときに歌われる歌です。ラオスの人々は歌や踊りが大好きで、夜になるとあちこちでお酒を飲みながらカラオケなどで歌う光景が見られます。</p>
<p>【伝統舞踊】 ルアンパバーンの歌</p>	<p>ルアンパバーンは 1353 年、ラオ族による初の統一王朝であるランサーン王国が成立した古都です。仏教国ラオスの礎を築いた街には歴史ある寺院が多く残り、街全体が世界遺産に登録されています。</p>
<p>【伝統楽器】 ケーンの演奏</p>	<p>ラオスの伝統楽器「ケーン」は笙の一種で、竹管 16 本を 2 列に分けて束ねてあります。中間の風箱に吹き口がついており、民俗的な歌や踊りの伴奏楽器としても、管楽合奏用にも用いられます。</p> <p>中国や日本の笙の原型とも言われています。</p>
<p>【伝統舞踊】 少数民族の踊り</p>	<p>ラオスは約 50 の民族で構成されています。各民族の文化的特徴は異なりますが、近年は個々の民族のアイデンティティを尊重する考えが広がっています。代表的な少数民族にラオ族、モン族、カム族があり、それぞれがカラフルな民族衣装に身を包み、踊りでは各民族の共存と繁栄、喜びなどを表現しています。</p>

ラオス人民民主共和国

Lao People's Democratic Republic



面積	24 万平方キロメートル
人口	744.3 万人（2022 年、ラオス統計局）
民族	ラオ族（全人口の約半数以上）を含む計 50 民族
略史	1353 年、ランサーン王国として統一。1899 年、フランスのインドシナ連邦に編入される。1949 年、仏連合の枠内での独立。1953 年 10 月 22 日、仏・ラオス条約により完全独立。その後内戦が繰返されたが、1973 年 2 月「ラオスにおける平和の回復及び民族和解に関する協定」が成立。インドシナ情勢急変に伴って、1975 年 12 月、ラオス人民民主共和国成立。
産業	サービス業（GDP の約 37%）、農業（約 18%）、工業（約 34%）、製品及び輸入に係る税（約 11%）。（2022 年、ラオス統計局）
GDP（名目）	215 兆 619 億キープ（約 150 億米ドル）（2022 年、ラオス統計局） GDP 成長率 4.4%（2022 年、ラオス統計局）
貿易・ 主要貿易品目	(1) 輸出 84.2 億ドル（2022 年、ラオス統計局） 電力、金、金鉱石、紙・パルプ（2021 年ラオス商工業省） (2) 輸入 68.6 億ドル（2022 年、ラオス統計局） 車両、機械類、ディーゼル（2021 年ラオス商工業省）

以上、外務省ホームページより抜粋

伝統舞踊や音楽を披露したのはラオスのルアンパバーンにある子ども文化センターの子どもたちです。ルアンパバーンは、14 世紀以降ラオ族王朝「ルアンパバーン王国」の都として栄えた場所で、仏教の教えが根付いた美しい町です。1995 年にユネスコの世界遺産に登録されています。子ども文化センター（CCC: Children's Culture Center）はラオス国内各地に政府により設置されており、6～18 歳までの地域の子どもたちに伝統音楽、伝統舞踊、絵画や工作などのプログラムを提供しています。